

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
Ⅲ-5	中原区子ども支援ネットワーク事業	継続	平成18年度	こども支援室

1 事業概要

事業実施主体	中原区子ども支援ネットワーク		対象者	区内の学齢期の子どもと保護者、子どもに関わる関係機関、団体	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()		関連事業局・事業内容		
目的及び内容	地域全体で子どもが抱えている課題を共有し、課題解決にむけた支援をおこなうため、学齢児童の子ども支援ネットワーク会議を年3回(3回目は東日本大震災のため中止)開催した。地域の素敵な大人と連携した「中原区子どものあり方・生き方プロジェクト」や「中原区中高生プロジェクト」の実施、子どもネットワークのホームページ「なかはらっこ」による情報発信について取組んだ。				
予算額	587,000(円)	決算額	548,776(円)	不用額※	38,224(円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  「InUnity2011」ステージ風景		「あり方・生き方プロジェクト」では、地域の素敵な大人に出会う活動として昨年に引き続きプロのダンサーによる指導を受け、2校の小学校の児童約80名が合同で11/27(土)の「中原こども未来フェスタ」と翌年1/31(月)の区の音楽イベント「InUnity2011」でダンスの成果を披露した。 中高生プロジェクトでは、5校の美術部34名の中学生が、自分たちが描いたポスターの掲示やポスターの柄のティッシュを配りマナーアップ活動を行った。また、高校生が商店街のイベントや小学校に出向き、区民と交流し区の活性化に貢献した。		
			実施時期(開催日/回数等)	上記のとおり	参加人数等 上記のとおり

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 地域で活動している自主グループやボランティアグループ等と行政機関、公共的活動を行う団体などがネットワークとして集まり、地域の子どもの支援していくという共通認識の下に各関係機関・団体が活動状況等の情報交換をしながら、活動を実施し、連携を深めることができた。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	関係機関や団体が情報交換をしながら、参加団体等の活動の実践を積み上げ、課題を共有していくことで、区民と協働した実践的なネットワーク活動の取組みを進めていく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

就学児の心のケアにつながる取組は今後も必要である。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
Ⅲ-6	中原区子育て支援推進事業	継続	平成15年度	こども支援室

1 事業概要

事業実施主体	中原区子育て支援推進実行委員会		対象者	区内在住の1歳から3歳までの乳幼児とその保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()		関連事業局・事業内容		
目的及び内容	区内に住む乳幼児を育てている保護者の孤立化や、育児不安の軽減をはかり、ひいては虐待予防につながっていけるように、地域ぐるみで子育て中の保護者をサポートしていくために、区の社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などの地域住民が主体となり、区内18箇所の「子育てサロン」を開催し、保護者への支援を行う。				
予算額	2,140,000 (円)	決算額	2,125,595 (円)	不用額※	14,405 (円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  <p>子育てサロンの様子</p>		中原区の社協・民児協が主体となった区内14箇所に加え、協働事業として支援している子育てふれあい広場（自主サロン）4ヶ所を加えた18箇所で、月1回の子育てサロンを開催している。 子育てサロンの開催の他、各地区では、朝の声かけ見守り活動や、中学生のボランティア体験の受け入れや、小学校との協働活動としての「命の授業」など、地域での世代間交流を進める活動ともなっている。地域での子育て支援の活動を振り返り、その活動についてエンパワーメントを高めるためのスタッフ研修会（140名参加）を開催した。		
			実施時期 (開催日/回数等)	月1回/サロン 延べ191回	参加人数等 9,973人

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 子育て中の転入者や出生数の多い中原区においては、乳幼児を持つ保護者が、子育てに関する気軽な相談ができる身近に知り合いもなく、不安の解消ができにくい状況にある。子育て中の視同士や、地域の人々と交流できる「子育てサロン」に参加することで、子育てに関する情報交換が出来、同じ年頃の子どもを持つ視同士のつながりが出来ることで、不安で孤独な子育ての解消の軽減を図っている。 平成22年度は、東日本大震災の発生のため3月に8会場の開催を中止した影響もあり、利用者数が前年度を下回る結果となったものの、親子の地域デビューに適した場としての機能を発揮した。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	地域ごとに地域のボランティアが主体的に実施しているサロン活動が定着しており、転入してきた親子や、初めて子育てをしている保護者が集える場として有効に機能している。さらに、「こんにちは赤ちゃん訪問」等と連動して、地域の交流の場として一層の定着を図っていく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


子育てサロンは地域交流の場として役立っている。母親の子育てに対する不安を解消することにも役立っている。また、子育てサロンを卒業した母親の行き場を充実させていく必要がある。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
Ⅲ-7	中原区子育て情報発信事業	継続	平成22年	こども支援室

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区内の子育て中の世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容			
目的及び内容	出生数や子育て中の世帯の転入が多い中原区では、子どもを抱える親の孤立化を防ぎ、子育てがよりスムーズで、楽しく充実したものになるよう、子育てに関する様々な情報を合理的かつ効果的に提供する必要があります。また、子育て支援には行政だけでなく様々な主体が関わっており、関係部署・機関・団体との連携により、多種多様な情報を区民に分かり易く、できるだけタイムリーに発信する必要があります。そこで、子育て世代の家族への多様多様な情報を効果的に提供するため、“子育て情報ガイドブック”を毎年度改訂発行する。また、子どもに関する相談窓口や子育て中の親子が集える場の情報が区民に広く浸透するよう普及活動を推進する。さらに、様々な子育て支援に関わる情報の収集に取り組み、効果的に発信できるよう中原区子育て支援ホームページの充実を図る。				
予算額	1,664,000(円)	決算額	1,475,092(円)	不用額※	188,908(円)
※不用の理由	人札により、子育てガイドブックの印刷が安価に発注できたため。				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  作成した冊子等		中原区子育て情報ガイドブック「このゆびと～まれ!」を改訂発行(7,000部)し、出生届提出時及び子育て中の世帯の転入時に配布するとともに、ガイドブックの内容を区子育て支援ホームページにも掲載した。また、地域子育て支援センターや子育てサロンなど子育て中の親子が集える場の情報をまとめた「子育てエンジョイ in なかはら」を発行(5,000部)し、新生児の全戸訪問時や転入者などに配布した。さらに、こども支援室の相談窓口や子どもに関する専門機関の連絡先を掲載した「こども相談窓口リーフレット」を発行(20,000部)し、幼稚園、保育所、小中学校等を通して配布した。		
		実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 出生数や子育て中の世帯の転入数も多く、また核家族の多い中原区では、子育て中の世帯へ積極的に情報提供を行い、子育てしやすい環境づくりを行うことが重要であり、多種多様な情報を分かりやすくまとめた冊子やリーフレット通して必要な情報を届けることができた。また、出生届や転入届提出時、新生児訪問や幼稚園、保育園、小中学校での配布などの機会を捉え、多くの子育て中の家庭に情報を届けることができた。子育て中の世代の多くがインターネットを通じて情報を得ていることから、区子育て支援ホームページにも情報を掲載し、利便性の向上を図った。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	引き続き区の出生数及び転入数は伸びる見込みであり、多種多様な情報をより分かりやすく、より多くの子育て中の家庭に届けるため、事業を継続する必要がある。ホームページを通じた情報提供もより一層の充実を図っていく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

子育てに関する情報を必要としている方は多く、今後も継続するべきである。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書


川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
III-8	中原区子どもの発達支援事業	継続	平成21年度	こども支援室

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所・NPO法人わになろう会 NPO法人教育総合活動センター	対象者	区内在住の発達に支援を必要とする幼児・児童の保護者	■当初予定事業 □緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	子どもの発達に何らかの課題がある保護者に対して、発達課題の理解を深めるための情報提供を行い、子どもへの対応スキルの向上を目指すと共に、保護者同士の情報交流活動を通して保護者の相互支援を推進する。また、これらの支援活動の報告と検討を行うことで、区内の子どもの発達にかかわる諸課題の把握及び子どもの発達支援活動の向上を図る。 <内容>・就園前児童、在園児、就学児童の保護者を対象とした「保護者ミーティング」の実施および講演会の開催 ・関係機関による「発達支援検討会」の開催			
予算額	1,329,000 (円)	決算額	1,327,945 (円)	不用額※ 1,055 (円)

※不用の理由

結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  講演会のチラシ等	新規事業として「在園児保護者ミーティング」を実施した。各々のミーティングでは保護者が抱えている不安や悩みを共有し、参加者同士の経験や専門家からの助言を通し具体的な関わり方や問題解決のヒントを得ていた。継続した参加により保護者同士が互いに支え合うつながりができた。 「発達支援検討会」では、幼保小等の学校関係者・地域療育センター・発達相談支援センターなど参加機関の取り組みや状況について意見交換を行い情報を共有した。関係機関による具体的な連携の仕方について次年度の課題となった。		
	実施時期 (開催日/回数等)	発達支援検討会/4回 講演会/3回 ミーティング/計36回	参加人数等	検討会委員：21名 保護者述べ：403名

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）

「在園児保護者ミーティング」を実施したことで就園前から就学までの子どもの成長に応じた保護者支援の拡充が図れた。互いに気持ちを出し合い共有することは保護者の孤立感や不安の軽減につながった。また、学校や関係機関と連携することで集団生活や家庭での状況が改善された報告もあった。保護者支援については、これまでの経過から支援の流れや実施内容が定まってきており、今後も継続していくことが求められている。
 また、発達支援検討会では、今後の課題解決に向けて、参加している機関が行っている様々な支援をより効果的につなげ、具体的な取り組みとして実施していけるよう、引き続き連携の強化を図っていくことが求められている。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	子どもの成長に応じた保護者支援は今後も必要であり、保護者の気持ちに寄り添い受け止めていくことと共に、集団の中での具体的な手立てや発達課題をどう保護者に伝えるかなど、直接子どもや保護者と関わる教師や保育士、スタッフとの連携強化を図っていく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


安心して子育てができる取組を今後も続けてもらいたい。

平成22年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
III-9	中原区子育て支援者養成事業	新規	平成22年度	こども支援室

1 事業概要

事業実施主体	社会福祉法人新生会		対象者	子育て支援に関心のある区民		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()		関連事業局	事業内容			
目的及び内容	現代の子育て状況や親子が置かれている現状について理解を深め、育児不安の軽減や虐待予防への啓発を促進し、子育て支援の理解を深める一般向け講座の開催。 さらに、一般向け講座を踏まえ、具体的な子育て支援活動に参加していくために、具体的な子育ての情報や対応について理解を深めると共に、支援すること・手助けすることの姿勢や心構えを学ぶステップアップ講座を実施。						
予算額	864,000 (円)	決算額	863,500 (円)	不用額※	500 (円)		
※不用の理由							
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  <p style="text-align: center;">講座の様子</p>		子育ての理解を深め、地域全体で地域の子育てを見守る体制づくりを目的に、一般区民に対して、一般向け講座(11月)を開催し、講座終了者31名。一般向け講座終了者に対して、具体的な実践者として活動することを目指して、ステップアップ講座(2月)を開催、講座終了者21名。				
	実施時期 (開催日/回数等)	一般向け講座 (11/9, 12, 18) ステップアップ講座 (2/16, 17, 22)	参加人数等	受講者実人数 109人			

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 一般区民向け講座及びステップアップ講座は、事業者へ業務委託し実施。地域の子育て支援の必要性への意識を高める講座から、参加者の意識向上は図れたと考える。今後、区内の子育て支援事業等への協力を依頼していく等、参加者を地域子育て支援活動に結びつける働きかけの強化を図っていく必要がある。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	新たに発掘した人材が実際の子育て支援の活動に結びつくような働きかけまでには至っていない現状がある。今後は受講者が地域の具体的な子育て支援活動に結びつく働きかけを強化していく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

地域で子育て支援に取り組むことができる人材の育成には引き続き取り組む必要がある。
--